



- ① 見江島展望台からハートの入り江を望むカップル
  - ② 新鮮な魚が並ぶ古和浦地区の「久屋」
- =いずれも三重県南伊勢町で



▼ガイド 鵜倉園地へは、国道260号沿いに案内の青い看板がある。南伊勢町観光協会 ☎0599(66)1717。玉山食堂は午前10時半～午後1時45分、午後4時半～6時。水曜定休が基本だが不定休。中華そば600円、ちらし300円。☎0599(66)0124

## 恋人の聖地 “海のハート”

熊野灘に面し、リアス海岸が続く三重県南伊勢町。うらかな陽気に誘われて、変化に富んだ海岸線を望む展望台を巡ってみた。

東西に長い同町には多くの半島があり展望台が点在する。なかでも人気が高いのが鵜倉半島にある鵜倉園地で四つの展望台が整備されている。費

湾と奈屋浦湾の間にある同半島は車で周遊できる。鵜浦漁港から四ヶ超る。鵜浦漁港から四ヶ超る。鵜浦漁港から四ヶ超る。鵜浦漁港から四ヶ超る。

一五年に恋人の聖地に認められ、鐘が付いたハート。鐘が付いたハート。鐘が付いたハート。鐘が付いたハート。

残りの三つの展望台も立ち寄ってみたが、それぞれ違った海の表情を見ることができた。「あけぼの展望台」は鵜浦湾や熊野灘、「かささぎ展望台」は南島大橋と阿曾浦大橋の親子橋、さらに「たちばな展望台」は奈屋浦湾などが望める。海

ではラーメンとにぎりずしのセットが定番と聞いて楽しみにしていたが、最近、にぎりずしはメニューからなくなり、ちらしになってしまった。それでも昭和の雰囲気漂う店内で食べた中華そばのやさしい味のスープは飲み干すほどおいしかった。

駆け足で坂を上ると、視界が開けた。腕組みをしながら眺め、横向きだがハートに見える。人けの少ない同エリアで、初め二人で海に来ましたが海岸線には荒々しい磯が続

て居合わせたカップルの色がいいですね。これき、湾内には養殖いかだの反応も「あれだね」と冷からもずっと二人でいたも点在する。

昼食は同町五ヶ所浦地区にある一九五一（昭和）年創業の玉山食堂に向かった。同エリア

入り江が多い同町には浦が付く地区が多い。古和浦地区の町並みを散策すると「久屋」という鮮魚店を見つけた。中に入ると、おかみさんが魚を前に食べ方などを教えてくれた。十五種類ほどの自家製の干物は、もちろん天日干しで驚くような安さだった。夕暮れの鵜浦漁港では、採ってきたばかりのヒジキを家族総出で干す光景がいたるところで見られた。小学生の女の子も腰をかかめて必死に作業していた。風に乗って潮の香りがした。海の息吹を感じた一日だった。（柳沢研二）